

〔記入例〕

府令様式第20の2（府令第48条の3 関係）

実 務 経 験 証 明 書

氏 名	① 久米 三郎 (〇〇年〇〇月〇〇日生)			
② 取り扱った危険物	類 別	第 4 類	品 名	軽油・ガソリン
③ 取り扱った期間	〇〇年〇〇月〇〇日 から 〇〇年〇〇月〇〇日まで (〇年□か月)			
製造所等の区分（該 当するものを○で囲 む こ と 。 ）	④ 製造所 ・ 貯蔵所 ・ 取扱所			
上記のとおり相違ないことを証明します。				
⑤ 証明年月日 〇〇年〇〇月〇〇日				
⑥ 事業所名 〇〇株式会社				
⑦ 所在地 〇〇町字〇〇 □□番地				
⑧ 証 明 者 職 名 〇〇株式会社 代表取締役				
氏 名 〇〇〇〇〇				
電話番号 〇〇〇—〇〇〇〇				

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

【実務経験証明書記入要領】

- ① 「氏名」欄は、証明を受ける者の氏名と生年月日を記入する。
- ② 「取り扱った危険物」欄は、実務経験で取り扱った危険物の類及び品名とする。危険物の類が複数ある場合は、主として取り扱った危険物の類を記入し、危険物の品名についても同様に扱うこととする。
- ③ 「取り扱った期間」欄は、実務経験の期間を記入する。括弧内には、合計の年月を記入する。
 - ※ 取り扱った期間は、6ヵ月以上でなければなりません。
 - ※ 6ヵ月以上の期間のとらえ方は、ブランクの期間があっても、設置者の異なる数か所の危険物製造所等であっても、合計して6ヵ月以上あれば差し支えありません。
なお、後者の場合には、実務経験証明書は複数となります。
- ④ 「製造所等の区分」欄は、実務を行った危険物施設の区分を○で囲む。複数の製造所等の区分にまたがる場合は、主として実務した施設の区分を○で囲む。
- ⑤ 証明年月日は、記載内容を証明する年月日を記入する。
- ⑥ 事業所名は、実務経験をした製造所等がある事業所の事業所名を記入する。
- ⑦ 所在地は、当該事業所の所在地を記入する。
- ⑧ 証明者は、事業所の長等、当該事業所における業務を統轄、管理する者とし、その者の職名及び氏名を記入する。電話番号は、証明者本人又は当該事業所のものとする。